



2025 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 空 港 施 設 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長執行役員 田村 滋朗
(コード番号 8864 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員経理部長 小玉 滋之
(Tel 03-3747-0251)

2026 年 3 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025 年 5 月 9 日に開示しました 2026 年 3 月期の通期連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

通期連結業績予想の修正について

①2026 年 3 月期 通期連結業績予想の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	35,988	4,525	4,151	3,041	60 円 47 銭
今回修正予想 (B)	36,588	5,824	6,192	3,030	60 円 58 銭
増減額 (B－A)	600	1,299	2,041	△11	
増減率 (%)	1.6	28.7	49.1	△0.3	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	31,121	4,469	4,629	2,577	51 円 27 銭

②修正の理由

中間連結会計期間において、既存物件の賃貸収入や給排水運営事業における給排水使用量が当初想定より好調に推移していることで売上高が増加基調であることや、仕入経費の一部についても当初想定より低い水準で推移していることから費用面も抑えられております。

また、前回予想において、減価償却費（売上原価）及び固定資産除却損（営業外費用）で見込んでいたものの一部が特別損失にて計上することなどの費用計上区分の変更等もありました。

その結果、通期業績予想の売上高は 36,588 百万円（前回予想比 1.6%増）、営業利益は 5,824 百万円（同 28.7%増）、経常利益は 6,192 百万円（同 49.1%増）と前回予想を大きく上回る見通しとなりました。

一方、第2四半期決算において、羽田空港一丁目地区の撤去費用の見直しに伴い、特別損失に減損損失と固定資産除却損を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は3,030百万円（同0.3%減）と前回予想とほぼ同水準となりました。

（注）本資料に記載されている業績等の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値とは異なる場合があることにご留意下さい。

以 上